 2016-2017 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 CONFERENCE

2016-17 年度国際ロータリー第 2660 地区

# 地区大会

# 報告書

## － 開 会 式 －

人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary　ホストクラブ　大阪北ロータリークラブ

# 開会式　目次


財団・米山顕彰者昼食会……1

開会式……3

祝能……大槻文藏　5

開会挨拶……大会委員長　鴻池一季　7

ガバナー挨拶・略歴……ガバナー　松本進也　9

RI会長代理挨拶・略歴……RI会長代理　張吉雄　14


人類に
奉仕する
ロータリー

# 財団・米山顕彰者昼食会

2016年12月9日(金)
リーガロイヤルホテル2階 ペリドット

顕彰昼食会

# 開会式

2016年12月9日(金)
大阪国際会議場5階 メインホール

ホワイエ受付

祝能

大会役員

開会点鐘

客席

国歌・ロータリーソング斉唱

司会者

舞台全景

シテ方　観世流　能楽師

## 大槻　文蔵

（おおつき　ぶんぞう）

### ■主な経歴

| | |
|---|---|
| 昭和22年5月 | 「鞍馬天狗」の稚児で初舞台 |
| 昭和25年10月 | 「猩々」に初シテ |
| 昭和30年10月 | 「鷺」を披く（初演） |
| 昭和34年1月 | 「翁」で初面 |
| 昭和37年5月 | 「道成寺」を披く |
| 昭和50年6月 | 日本能楽会訪欧能楽団に参加 |
| 昭和58年4月 | 約3年を要して大槻能楽堂の改築工事が完成する |
| 昭和59年4月 | 能楽堂主催の自主公演能を始める |
| 平成元年·9月 | 「卒都婆小町」を披く |
| 平成10年3月 | 「檜垣」を披く |
| 平成13年10月 | ユネスコ世界遺産能楽公演に参加、渡仏 |
| 平成16年12月 | ユネスコ世界遺産能楽公演に参加、渡米 |
| 平成19年11月 | 「関寺小町」を披く |
| 平成24年12月 | 「姨捨」を披く |

### ■主な受賞歴

| | |
|---|---|
| 昭和53年2月 | 大阪文化祭奨励賞 |
| 昭和60年2月 | 大阪府民劇場奨励賞 |
| 昭和63年2月 | 大阪文化祭賞 |
| 平成8年3月 | 松尾芸能賞優秀賞 |
| 平成9年3月 | 読売演劇大賞優秀男優賞 |
| 平成10年1月 | 文化庁　芸術祭優秀賞 |
| 平成12年3月 | 芸術選奨文部大臣賞 |
| 平成14年11月 | 紫綬褒章受章 |
| 平成18年3月 | 大阪府舞台芸術賞 |
| 平成18年3月 | 大阪市文化祭賞グランプリ |
| 平成25年11月 | 旭日小綬章受章 |
| 平成27年11月 | 日本学賞受賞 |
| 平成28年7月 | 重要無形文化財「能シテ方」保持者（人間国宝） |

# 開会挨拶

2016年12月9日(金)
大阪国際会議場5階 メインホール

[redacted]

大会委員長

**鴻池　一季**（こうのいけ　かずすえ）

国際ロータリー第2660地区　2016-2017年度地区大会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日、張吉雄（チャン・チ・ション）国際ロータリー会長代理ご夫妻のご臨席の下、地区内外のご来賓をはじめ多くのロータリアンのご参加を得て地区大会が盛大に開催できますことは誠に喜ばしく、大会委員長として衷心よりお礼を申し上げます。

ホストクラブである私共大阪北RCでは、昨年の大会において本年度地区大会のホストクラブとして紹介されて以来、有意義で印象的な地区大会開催に向けて本格的稼働を始め、実行委員会を組織し、入念に準備を進めて参りました。そして、本日いよいよ初日の開会式を迎えられましたことは、12年ぶりに地区大会のホストを務める大阪北RCにとりましても、12年ぶり2度目の大会委員長を仰せつかりました私自身にとりましても誠に感慨深いものがございます。

さて本年度のジョン･F･ジャーム国際ロータリー会長のスローガン「人類に奉仕するロータリー」（“Rotary Serving Humanity”）と松本進也ガバナー方針の“The Ideal of Service”に基づいて地区内ロータリアン、各ロータリークラブ、そして地区組織の様々な奉仕活動の感動と輝きを大会の参加者が共有できるよう、大会のプログラムを企画いたしました。

特に本年度は、1917年に第6代国際ロータリー会長　アーチ・F・クランフ氏がロータリー基金を提唱してちょうど100年にあたり、ロータリー財団100周年の年度であることから、ジャームＲＩ会長も我々にロータリー財団100周年を祝う行事を行うよう推奨されています。

そこで、本大会では1日目開会式のオープニングに日本の伝統的式楽である能楽の中でも祝賀を表す祝能（いわいのう）の「翁」を、この度能楽師として人間国宝に認定された大阪北RC会員大槻文藏氏に演じていただきました。

続いての開会式で松本ガバナーと張RI会長代理のご挨拶をいただいた後、分科会では「会長・幹事・一般部門」としてベストセラー「嫌われる勇気」の著者でアドラー心理学認定カウンセラー　顧問の岸見一郎様に「『嫌われる勇気』そして『幸せになる勇気』」と題してご講演いただきます。

「財団・一般部門」においては、遠路ニューヨークユニセフ本部からポリオ根絶チーム上席アドバイザーの山口郁子様においでいただき、「ポリオ撲滅の最前線」と題したご講演と、引き続きパネルディスカッションを行います。特にバーチャル・リアリティーを用いたヴィジュアル展示は新しい試みで大いにご関心を持っていただけると思います。

「会員・家族の集い」では、オーストリア、福島そして当地区のロータリークラブの支援により、福島の被災地から音楽では世界最高峰のウィーン国立音楽大学ピアノ科に留学中の吉田昂城くんの演奏をお聴きいただきます。また、当初から彼を温かく見守り、支援されてきた高槻西RC会員の近藤眞道氏のご講演もお聴きいただきます。

分科会の後、張吉雄国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が隣接のリーガロイヤルホテルで開催されます。張会長代理ご夫妻を歓迎し、ご参加の皆様に喜んでいただくため、美味しいお料理とお飲み物、さらには昨年福島でロータリーの復興支援活動にご協力いただいた小松玲子さんによるユニークな楽器「サヌカイト」の演奏をお楽しみいただきます。

また明日の本会議についても盛りだくさんで有意義なプログラムをご用意しておりますのでご期待いただきたいと思います。

最後に、皆様のご協力により、ロータリー財団100周年を祝う本大会を通じてロータリー精神の高揚と、ロータリー活動がもたらす感動を参加者全員で共有し、本大会を機にロータリーの奉仕活動が一層輝きを増し、活性化することを期待してご挨拶といたします。

2016-17年度　国際ロータリー第2660地区ガバナー
松本　進也（まつもと　しんや）

[redacted]

皆様、こんにちは。

只今ご紹介に預かりました第2660地区ガバナーの松本進也でございます。

本日は地区内ロータリアンの皆様、ご家族の皆様、国内外からも多数の皆様にご参集いただきましたこと、高い位置からではございますが心より御礼申し上げます。
皆様方のお蔭をもちまして、本日を迎えますことを有難く思うばかりであります。

また、2016-17年度国際ロータリー第2660地区 地区大会を、第3520地区1996-97年度ガバナー 張吉雄様、令夫人張林麗蕙様 ご夫妻をRI会長代理としてお迎え出来ましたことは、我々地区全会員の喜びであります。台湾よりご来駕いただきましたこと、心から歓迎の意を表すると共に厚く御礼を申し上げます。

さて、当方のガバナー方針を“The ideal of service”と定め、公式訪問でもその意義を皆様にお伝えして参りました。この場をお借りしてその経緯及び、決議23-34を引用し、ご説明させていただきます。

遡ること3年前の福家宏ガバナー年度に、ガバナーノミニー・デジグネートを拝命し、菅生浩三PGよりご著書である「ロータリー随想」全4冊をご恵贈賜りました。

菅生PGは当方入会の1987年の大阪北RC会長、1991年度地区ガバナー、2002年から2004年のRI理事を歴任され、ご指導を賜っている大先輩であります。「ロータリー随想」にて一貫して訴えておられるのがまさしく“The Ideal of service”、人類の相互的行為でありました。個人は社会に対して、自己の言動の成果を提供・還元すれば、社会からは個人へ恩恵が供給されます。この連鎖が社会を良質なものへと変貌させます。日本語の「奉仕」は自己犠牲のような、一方向的な意味ですが、本来の英語のserviceは相互的意味であります。

Serviceの相互的行為につきまして、大阪では非常に有名な阪急電鉄

創業者の小林一三氏のエピソードをご紹介いたします。

阪急百貨店が開店した直後、昭和5年、6年は、浜口内閣の緊縮政策で、日本は不景気の真っ只中、サラリーマンは昼食代も苦しい状態でした。当時、阪急百貨店の大食堂の看板メニューは20銭のライスカレーでしたが、苦肉の策として5銭のライスだけを注文し、添えてある福神漬とソースをつけて食べる「ソーライス」が大流行しました。

百貨店はライスだけの注文を禁止の張り紙を出すに至りましたが、小林一三社長は「ライスだけのお客様を歓迎します」との新聞広告を出し、昼食時には必ず食堂に居て、福神漬を多めにつけるよう指示し、あたたかい笑顔で頭を下げたのです。

反対する従業員には「確かに彼らは今は貧しい。しかしやがて結婚して子どもを産む。そのときここで楽しく食事をしたことを思い出し、家族を連れてまた来てくれるだろう」と諭したそうです。後年、景気が持ち直し、関西の財界人の間でも懐かしく語られると共に、当時、ソーライスで空腹を満たした人達は敢えてソーライスを注文し、当時の御礼の意味も込め、わざと多額の代金を食器の下にそっと置いていくことが後を絶たなかったとのことです。経営上は何の利益ももたらさないソーライスの提供が後に感謝の気持ちを込めたお礼として還元されたのであります。

似たような話が外国でもございます。イタリアの高級仕立て屋を訪れた若者が「僕のようなあまり裕福でない人間がこのような立派なお店で背広をお願いしても良いのですか?」と尋ねたそうです。「大学を出たばかりの若者には安く売ります」と店主は返したそうです。「彼らは将来成功し、地位を築いて再びお越しになるでしょう。そうすると、当店の良い服の伝統は未来永劫受け継がれますから」と語ったそうです。

このように我々から発せられたserviceはいつか我々や他者に還元され、その連鎖は社会を素晴らしいものへ変容させ、豊かな人間生活を構築いたします。

このロータリーの根幹精神とも言える思想に私は深い感銘を覚え、第2660地区全ての皆様に広めることを決意し、ガバナー方針として採用いたしました。ガバナー補佐の8名の皆様にはエレクト時代から毎月第三水曜に「三水会」という名称の下、ガバナー補佐会議を開催し、この理念を伝え、ご理解を賜りました。そして、本年1月17日から一週間に亘り、全世界534地区のガバナーエレクト夫妻がサンディエゴにて研修を受けましたが、その中で、ジョン・F・ジャーム会長方針が発表されました。“Rotary serving humanity”「人類に奉仕するロータリー」、この中に当方のガバナー方針と同じserviceの文言があることに驚きました。やはり菅生元RI理事はロータリーの本質を見抜いておられたと感慨深く思った次第であります。

また、1923年セントルイス国際大会にて可決された決議23-34は、ロータリーの奉仕理念である"The Ideal of service"を確定する唯一の文書であり、数多い公式文書の中でこの奉仕理念に触れているのはこの決議23-34のみであります。

第一条には『ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、その哲学はService above self「超我の奉仕」という奉仕哲学と、One profits most who serve s best「最も奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくもの』であると記載されています。

また、1932年、ハーバード・テイラーが「四つのテスト」により、自身の会社を再建し、1943年1月のRI理事会がこれを採択可決しました。「四つのテスト」は、ロータリーの奉仕部門の全てにおいて重要な要素となっていますが、当初は職業奉仕部門に組み込まれていたそうです。この四つのテストを顧客、従業員、同業者、納入業者への対応として、経営者もしくは職業人の立場から言い換えることも可能です。

1）【真実か　どうか】
　＝顧客に対しての対応
　あなたが提供できる最良の品質、最高の技術を提供していますか
2）【みんなに公平か】
　＝従業員に対する対応
　従業員に安全で快適な職場を提供していますか
3）【行為と友情を深めるか】
　＝同業者に対しての対応
　業界において公正で誠実であり、共に手を携えて、職業倫理の高揚に努めていますか。
4）【みんなのためになるか　どうか】
　＝納入業者に対する対応
　公正で友好的な関係を築いていますか

このように言い換えが可能であることからも、職業奉仕の概念、いわゆる一個人として職業の知識やスキルを社会のニーズの解決のために進んで役立てるこの概念は、我々ロータリーが、他の奉仕団体と最も大きく異なる点であります。以前は「一業種一会員」と呼ばれた程、ロータリーは職業分類を非常に重んじ、厳格に捉えています。

また、「職業奉仕」という考え方は、他の奉仕団体にない我々ロータリー固有の思想であります。

そして、ロータリーの行動規範の第3項にも「自分の職業スキルを生かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会

や世界中の人々の質を高める」とあります。この度の2016年規定審議会では皆様もご存じの通り、クラブ運営上の様々な改革案が採択されましたが、我々ロータリーの職業奉仕をベースにした基本理念はロータリーの111年間の長い歴史を通じて変わらぬ事実であります。まず、ロータリアンの企業が職業奉仕理念に基づいた正しい経営をした結果、事業が継続的に発展することを立証すれば、同業者もその方法を見習うでしょう。その結果が業界全体の職業倫理高揚に繋がります。即ち、職業奉仕の実践により、事業主と同業者、顧客全てが恩恵を受けることになります。これも“The ideal of service”であります。

以上で、我々の存在意義とも言える職業奉仕の観点からの“The Ideal of service”のご説明をもちまして、開会のご挨拶と替えさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

# ガバナー略歴



## 松本　進也（まつもと　しんや）

| | |
|---|---|
| 生年月日 | 1947（昭和22）年 2月20日 |
| 大阪北RC入会日 | 1987（昭和62）年10月14日 |
| 職業分類 | 外食チェーン |
| 勤務先 | 松本商事株式会社　松本興業株式会社 |
| | 松本フード株式会社 |
| 役　職 | 代表取締役社長 |
| 所在地 | 大阪市中央区難波千日前9-11 |
| 経　歴 | 1969年　慶應義塾大学商学部　卒業 |
| | 1969年　株式会社三和銀行　入行 |
| | （現・株式会社三菱東京UFJ銀行） |
| | 1971年　松本商事株式会社　専務取締役 |
| | 松本興業株式会社　同上 |
| | 1983年　松本フード株式会社　設立　専務取締役 |
| | 1996年　松本商事株式会社　代表取締役社長 |
| | 松本興業株式会社　同上 |
| | 松本フード株式会社　同上 |
| | 2016年　現在に至る |
| ロータリー歴 | 1987年10月14日　大阪北ロータリークラブ入会 |
| | 1993-1994年度　幹事 |
| | 1996-1997年度　国際奉仕担当理事 |
| | 1998-1999年度　友好委員長（理事） |
| | 2001-2002年度　S.A.A. |
| | 2002-2003年度　国際交流委員長（理事） |
| | 2003-2004年度　副会長 |
| | 2008-2009年度　会長 |
| | 2011-2012年度～12-13年度 |
| | 創立60周年記念行事実行委員長 |
| RI第2660地区 | 1999-2000年度　拡大委員会委員 |
| | 2000-2001年度　地区副代表幹事　拡大委員会委員 |
| | 2001-2002年度　拡大委員会委員 |
| | 2003-2004年度　地区幹事 |
| | 2004-2005年度　地区代表幹事 |
| その他 | ロータリー財団 |
| | マルチプル・ポール・ハリス・フェロー |
| | ロータリー財団　ベネファクター |
| | ロータリー財団　メジャードナー |
| | ロータリー財団　ポール・ハリス・ソサエティ |
| | ロータリー米山記念奨学会 |
| | 米山功労者メジャードナー |
| | 連続28年皆出席（2015-16年度時点） |

2016-17年度　RI会長代理

## 張　吉　雄（チャン・チ・ション）

松本進也ガバナー、地区大会実行委員長、国際ロータリー第2660地区のロータリアン並びに御家族の皆様：今度は家内Lilyと共に貴地区ガバナー 松本進也様の御要請にて、ロータリー世界のリーダー、ジョン・ジャーム（John Germ）会長御夫妻の代理として、此の何千人も集まり、心を震動させる盛大な貴地区大会に参席させて頂きます事を、先ずジャーム（Germ）会長及び松本ガバナーに感謝申し上げますと共に、大変光栄に存ずる次第でございます。又、先日から大変心温まる御歓迎に、心より感謝を申し上げます。

大会を通じて、参加されたロータリアンが、21世紀のロータリーのあり方を学び、討議を通じて、新しい同志を得られて、本大会が楽しく、しかもインスピレイショナルなものになる為にどれだけのお手伝いが出来るかが、ジヤーム会長の私に与えられた任務と心得て務めさせて頂きます。

ここで、先ず、ジョン・ジャーム会長の紹介を申し上げたいと思います。2016－17年度の国際ロータリー会長を務めるジョン・ジャーム氏は：米国（テネシー州）、Chattanoogaロータリークラブ会員でエンジニアリングのコンサルテイング会社、Campbell and Associates社の理事兼CEO。同社に入社前は空軍に4年間在籍。Public Education FoundationとOrange Grove Centerの理事および執行委員、Blood Assuranceの理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundationの創設者および財務長、Tennessee Jaycee財団の会長。

RI超我の奉仕賞、ロータリー 財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジユデイ夫人とともに財団のベネフアクターおよびアーチ・クランフ・ソサエテイ会員。お二人には、4人のお子さんと6人のお孫さんがいます。

“人類に奉仕するロータリー”今年度のテーマはポール・ハリスが云いました言葉：「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」と私たちがロータリーにいる理由であり、ロータリーが最善を尽くして人類に奉仕し、できる限り多くの人々の人生をより良くできるようにすることが、ロータリー会員

の役割です。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。

111年の歴史の中で、皆さん、もしもロータリーが存在しなかったならば、世界はどんなになっていたか想像してみて下さい。ロータリーが実施したことが何も実現しなかったと考えて下さい。

学校や診療所は建設されず

井戸は掘削されず

農作物の種は蒔かれず

国際的な友愛の絆が結ばれる機会も到来しなかったに違いありません。

ロータリーが存在せず、飢えに苦しむ子供たちは、まだ、世界各地に氾濫しています。

子供たちを不具にするポリオ・ウイルスが撲滅される見通しもつきません。

ポール・ハリスの脳裏に常に厳存していたのは、ロータリーの原則が世界中の人々に受容されるならば、善意の行動は無限に広がっていくであろうということです。

又、ロータリーが職業界にて道徳的水準を高め、公共設施の改善を通して、社会を明るくする可能性を感知していました。

ロータリー財団を通して、世界中に善意を広め、世界平和を目指すロータリーの役割が実現しました！

この数十年来、ロータリーは多くの変化、改善が加えられました。人類に奉仕する事が世界各地にて展開されました！

ロータリーへの入会がいかに大きな機会あったかを認識してもらわなければなりません。その機会は、人類のためのロータリー奉仕を通じて、より良い世界を築く機会です。

ロータリーリーダーの皆さん、その機会をつかんだことで、より野心的な奉仕活動に取り組めるようにする機会との事です。

ロータリーのおかげで人生が変わる世界中の人びとにも及びます。

多くを期待されている者は、尚こそ自分自身が人類に奉仕する事を実践しようではありませんか。

去る2001年2月米国カリフォルニア州アナハイムにて開催されましたRI国際協議会で、RI会長ビチヤイ・ラタクルが「優れた地区大会とは」との話題で次の様に言われました。

あなたのロータリーの絵には、バランスが第一の必要条件です。この傑作に最後の仕上げをなさる段階で、この絵の最も大切な構成要素ともいえる地区大会が、あなたのロータリーの絵において重要な役割を果たし始めます。

しかし、どうやってそれ以上の事をなさいますか。どうやって、地区の歴史上最も素晴らしい大会を企画し組織しますか。

大会はロータリーに関するもので、ロータリアンが設計したものであるべきです。また、地区大会の目的は、親睦、感銘深い講演、そして地区内のクラブや国際ロータリー全般に関連する事項の討論を通して、ロータリーのプログラムを推進することだと、心に銘記しておいてください。若いロータリアンや新会員、又家族の参加も、ロータリー行事において極めて大切な側面です。

地区大会は、私たちのエネルギーを愛と理解で充電する非常に恵まれた機会です。ロータリーは常に質の高い製品であり続けてきました。ロータリーの歴史を通して、これはロータリーの旗印の一つです。

「虹の向こう、空のどこかに…」と1930年代の名作ミュージカル「オズの魔法使い」でジユデガーランドは歌いました。そうです、虹は空に、高い所にかかるのです。

一部の者には手が届いても、私たちの多くには、手の届かない彼方のように感じられます。虹を見るには、雨や嵐を耐えしのばなければなりません。

ここでもまた、虹を見ようとして、雨や嵐にあなたがどれだけ耐えられるのか、私には分かりません。しかし、自分に寄せられる要請を受け

て、行動を起こす準備のある方だけが、挑戦事項に勇気と決意と情熱をもって立ち向かう用意のある方だけが、虹を仰ぐことができ、あなたの地区大会が真にこれまでで最高であることをその目で見ることができるのです。

最善を尽くしたと満足しないでください。それは他の人も成し遂げてきたことです。あなたの大会を単に他と比べて良いだけでなく、史上最高のものとしてください。

皆さまの成功を心からお祈りしています。

ご静聴有難うございました。

# R I 会長代理略歴



## 張　吉　雄（チャン・チ・ション）

| | | |
|---|---|---|
| 生年月日 | 1935年10月7日 | |
| 学　歴 | 国立台灣大學法學部法律学科卒業 | |
| 事　業 | 吉銘貿易股份有限公司代表取締役社長 | |
| | MAYWELL　CORPORATION（U.S.A）社長 | |
| ロータリー歴 | 1975年 | 2月25日台北北ロータリークラブ入会 |
| | 1981年 | 幹事 |
| | 1989年 | クラブ会長 |
| | 1990年 | ロータリー情報委員長 |
| | 1991年 | 地区副幹事 |
| | 1993年 | 地区幹事 |
| | 1993年 | 地区協議会部門別GROUP LEADER |
| | 1994年 | 地区ロータリー情報委員会委員長 |
| | 1996年 | 地区ガバナー |
| | 1998年 | 地区ロータリー指導者研修委員会委員長 |
| | 1998年 | 国際ロータリー　中華民国総会第七届理事 |
| | 1999年 | 地区ロータリー財団委員会委員長 |
| | 1999年 | RI TAIPEI INSTITUTE GROUP DISCUSSION LEADER |
| | 2000年 | 地区クラブ会長エレクト研修会 PANELIST |
| | 2000年 | 地区ロータリー国際親善奨学金委員会委員長 |
| | 2000年 | 地区同額補助金委員会委員長 |
| | 2001年 | RI KUALA LUMPUR INSTITUTE PANELIST |
| | 2001年 | TAIWAN OSTEOPOROSIS & MENOPAUSE PATIENT SOCIETY CHAIRMAN |
| | 2002年 | RI ASIAN PRESIDENTIAL CONFERENCE PANELIST |
| | 2002年 | RI第2710地区大会（日本）RI　会長代理 |
| | 2003年 | RIロータリーファミリー TASKFORCE ZONE COORDINATOR |
| | 2004年 | RI 第3470地区大会（台湾）RI会長代理 |
| | 2006年 | RI ZONE 4理事指名委員会委員 |
| | 2009年 | RI第3240地区大会（インド）RI会長代理 |
| 表　彰 | 1989年 | ポール・ハリス・フェロー |
| | 1996年 | RI会長バランス業績賞 |
| | 1996年 | RI会長ロータリー拡大実績賞 |
| | 1996年 | RIロータリープログラム基金寄付特別賞 |
| | 1998年 | 中華ロータリー教育財団緋粉金盾賞章 |
| | 2003年 | ポール・ハリス・フェロー5 BLUE STAR 賞 |
| | 2006年 | MAJOR DONOR |
| 翻　訳 | 1. | The ABC's of Rotary |
| | 2. | ようこそロータリーへ |
| | 3. | My Road To Rotary |
| | 4. | Rotary Wisdom |
| | 5. | The Words and Wisdom of Paul Harris |
| 著　書 | 1. | 未来を築くロータリー |
| | 2. | ロータリー思想史 |